

# ひろの

# 議会だより

P2 令和5年度注目事業

P4 令和5年度  
予算の概要

P6 こんなことが  
決まりました

P12 7人の議員が  
町政を問う

(一般質問)

No.157

こども園  
入園式

広野こども園に  
0歳から3歳までの  
元気な22人の  
子どもたちが  
入園しました。



QRコードを読み込  
むと議会の情報を見  
ることができます。

広野こども園 入園式

## 令和5年度予算成立

# 注目事業クローズアップ!

令和5年第1回定例会を3月9日から17日までの会期で開き、令和5年度予算を中心に、条例改正や補正予算など、町から提出された26の議案を審議し、全て原案のとおり可決しました。

また、町の人口状況や財政推移などを鑑み、議員定数の適正化を検討する「議員定数に関する特別委員会」を設置しました。

ここでは、令和5年度の主な事業を紹介します。



太平洋が一望できる高倉山展望台

## 高倉山展望台等整備事業 3850万円

高倉山展望台が整備されてから約30年が経過し腐食が著しく危険であることから、改修して登山者の安全を確保しつつ地域住民に親しまれるような森林環境の向上を図ります。

## 農業担い手確保支援事業 695万円

農業の持続的、安定的な発展を図るため、農業者の確保、育成及び定着を目的として、新規就農者等に対し補助金を交付します。



育苗作業を行う新規就農者（フロンティアひろの）

## 教育ビジョン事業 618万円

学校図書館の充実と読書活動の推進を図るため、広野小学校及び広野中学校図書館の図書を整備し、学校図書標準蔵書数以上を維持、確保します。

学校司書の配置並びに図書管理システムの導入により、児童生徒の書籍への関心、読書への意欲を高め、読書活動の推進に取り組みます。



学校司書が配置された広野中学校図書室



駅東側開発地区住宅団地

## 住宅用地取得支援事業 1億4100万円

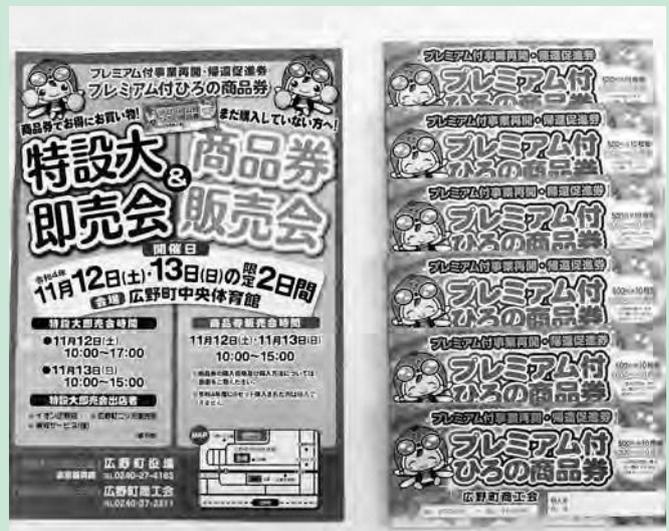
移住定住施策として、駅東側開発地区住宅団地の町外からの購入者(子育て世代や若年夫婦世帯)に対し、住宅用地取得支援金として1世帯あたり300万円を交付します。

## プレミアム付き商品券事業 1億952万円

福島県事業再開・帰還促進事業を活用し、さらなる町内への帰還のきっかけ及び需要を喚起し、地域経済の活性化を目的にプレミアム付き商品券を発行します。

1セット1万円(1万5千円分)とし、1人当たりの購入限度額については、6セット6万円(9万円分)までです。

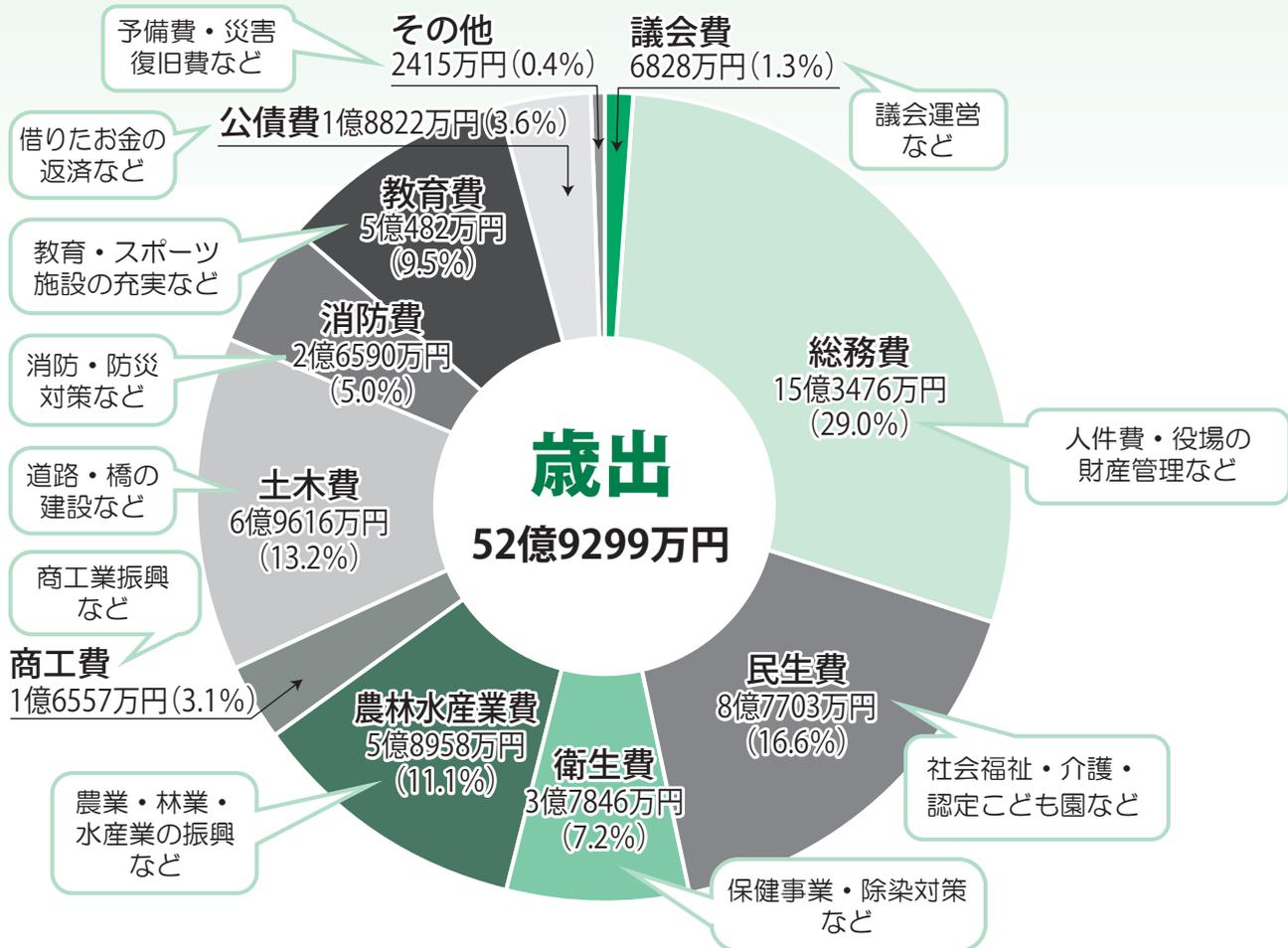
対象者は、町民と町内事業所就労者です。今年度で事業終了となります。



令和4年度プレミアム付き商品券

予算の大部分を占める令和5年度一般会計予算は、52億9299万円と昨年度に比べ約12%の減となりました。

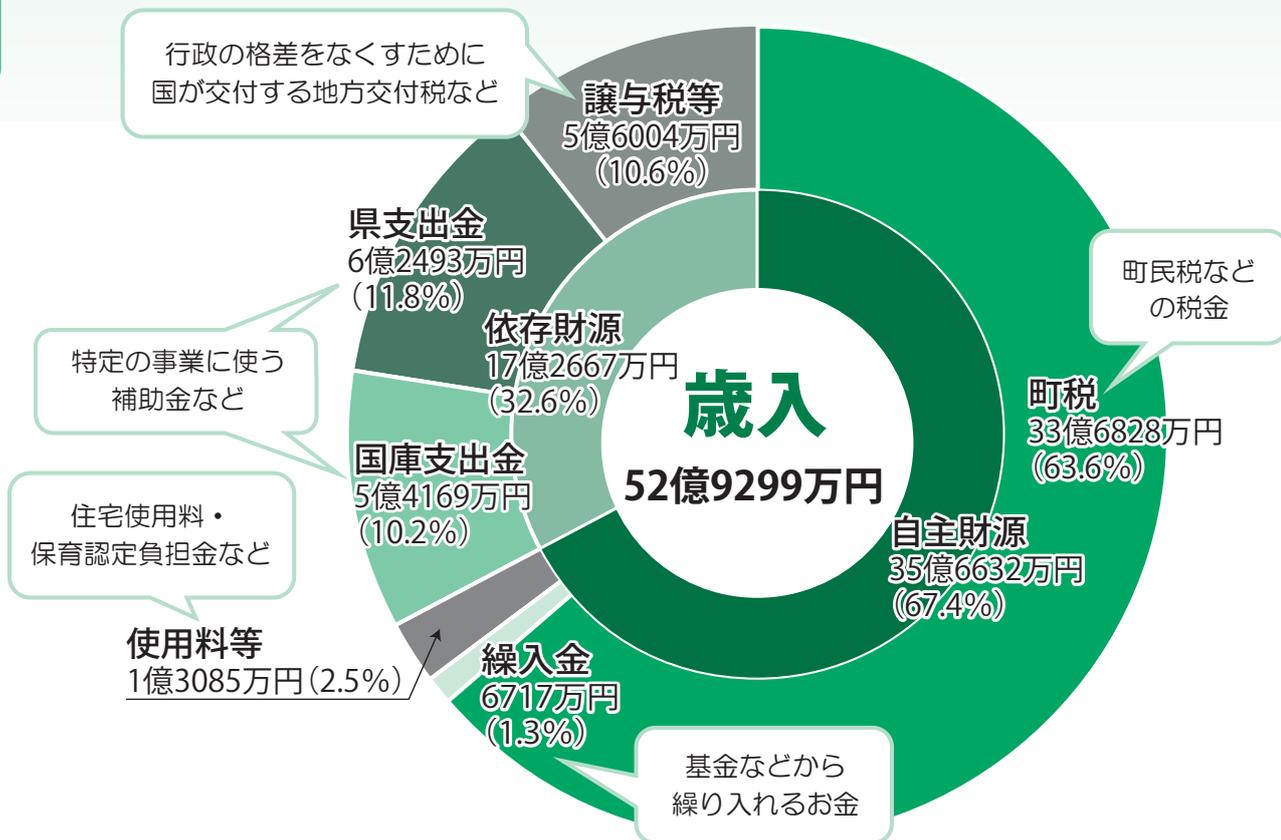
令和5年度予算につきましては、東日本大震災からの復興・創生への取り組みと新型コロナウイルス感染症対策を優先し、地域包括ケアシステムの確立、ゼロカーボンビジョンの推進、移住・定住施策として駅東側第2期開発住宅用地取得支援事業を核にした予算編成となっています。



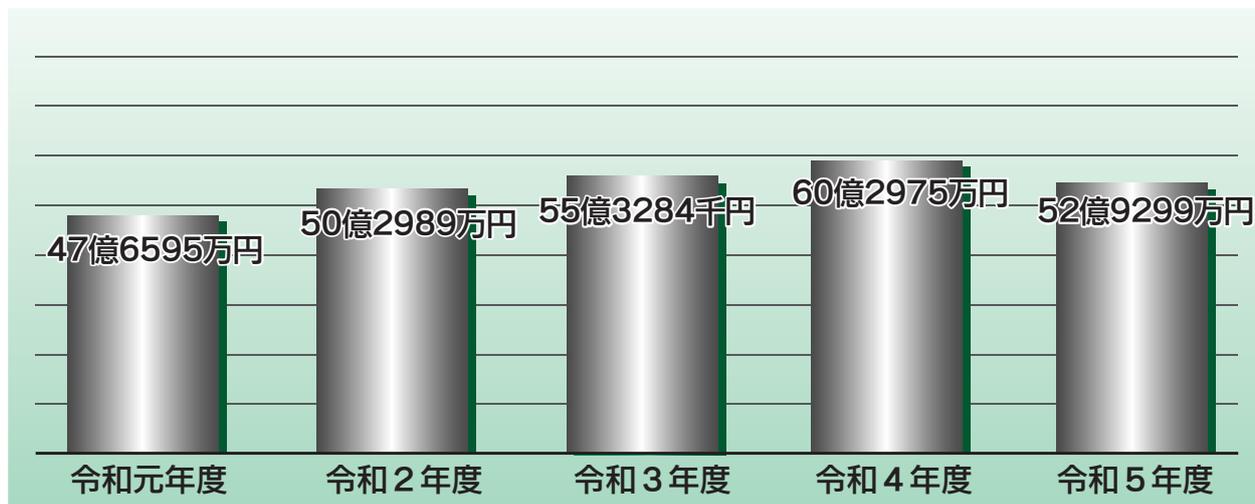
### 令和5年度各会計当初予算額

会計名	令和5年度	前年度比	一般会計繰入金
一般会計	52億9299万円	12.2% ↓	
特別会計	国民健康保険	8億0315万円 1.0% ↓	5974万円
	土地開発事業	8068万円 86.3% ↓	6764万円
	公共下水道事業	1億8861万円 15.0% ↓	1億3818万円
	農業集落排水事業	3548万円 15.2% ↓	3151万円
	介護保険	6億6602万円 8.4% ↑	1億0139万円
	後期高齢者医療	2473万円 23.2% ↑	1438万円
合計	70億9166万円	14.8% ↓	4億1284万円

# 令和5年度 予算の概要



## 過去5年間の一般会計歳出予算の推移



# 地域公共交通活性化事業

## 利便性、地域間格差が争点に

令和5年2月9日に開催した総務文教常任委員会において、町執行部より、人口減少及び高齢化の進行による交通弱者等の増加に対応するため、町民バスを路線形式から公共施設等を結ぶ循環形式に変更し、タクシー利用料金助成事業を助成額の増額(1万2千円から2万4千円)、対象年齢の引き下げ(75歳から65歳)する事業案の提出がありました。

### 一般質問(3月14日)

門馬 巧 議員 遠隔地住民の生活が成り立たない。デマンド交通を導入すべき。

畑中 大子 議員 定期的に利用している遠隔地住民の乗車率が反映されていない。  
※詳細は一般質問(P12から)をご確認ください。

### 令和5年度一般会計予算質疑(3月16日)

町長 デマンド交通の実行を前提に再度見直しを図り、令和5年4月に全員協議会で内容を説明し、ご理解を頂いたうえで、地域公共交通活性化事業に移行します。

令和5年4月10日に開催した全員協議会において、町執行部より町民バス(路線形式)とデマンド交通をハイブリット運行する事業案の提出があり、協議を行いました。

### 地域公共交通活性化事業(令和5年7月3日から運行予定)

- ・町民バス  
現在の路線バス3コースを週3日(月・水・金)運行
- ・デマンド交通  
運行経路 広野町内の自宅⇄公共機関、医療機関及び金融機関等  
運行日時 週2日(火・木)9時から16時まで※予約制(受付 前日8時から15時まで)  
利用料金 1乗車につき300円  
※当該事業の導入によりタクシー利用料金助成事業は6月末で廃止となります。

## 議員定数に関する特別委員会を設置

当町の人口状況や財政推移などを鑑み、議員定数の適正化を検討するための特別委員会を設置しました。

委員には議長を除く9人全員が指名され、委員の互選により、委員長には門馬まりえ議員、副委員長には小磯利雄議員を選出しました。

### 議員定数の現状

#### ■議員定数とは…

町の条例で定められた議員数

#### ■現状の議員定数は…

広野町議会議員定数条例

広野町議会議員の定数は、地方自治法第91条第1項の規定により、10人とする。

#### 広野町議員定数の経過

14人→12人(平成19年4月22日)

12人→10人(平成27年11月15日)

平成15年以前	地方自治法で人口規模に応じた定数が定められていた
平成15年法改正	定数の上限が定められていた (上限内であれば、定数を議会自ら決定できる)
平成23年法改正	定数の上限が撤廃された (議会自ら定数を自由に決定できる)

↓  
議会が中心となって審査し、条例で定める。

いっくんが決めました

# 人事案件に同意

3月31日で渡邊忠義教育委員会委員が退職することになり、新たに根本敏法氏を選任することに同意しました。  
また、3月31日で任期満了となる鈴木光一固定資産評価審査委員を適任者と認め、再任することに同意しました。

## 固定資産評価審査委員



鈴木 光一 氏  
(上北迫)

任期 令和5年4月1日から  
令和8年3月31日まで

## 教育委員会委員



根本 敏法 氏  
(上北迫)

任期 令和5年4月1日から  
令和5年7月14日まで

## 全国議長会表彰受賞



北郷 幹夫 議長

2月8日に開催された、全国町村議会議長会定例会において、北郷幹夫議長、小磯利雄副議長が表彰されました。  
この表彰は、広野町議会議員として15年以上の永年にわたる、地域の振興発展に寄与された功績に対して贈られたものです。



小磯 利雄 副議長

## 令和4年度3月補正予算 大幅に減額

今回の補正は、主に予算確定等による最終調整の不用額の大幅な減額でした。  
これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ3億7181万円減額され、総額で70億8038万円となりました。

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		▲3億7181万円	70億8038万円
特別会計	国民健康保険	▲5009万円	7億7601万円
	土地開発事業	▲9089万円	5億0197万円
	公共下水道事業	▲1976万円	2億0306万円
	農業集落排水事業	▲270万円	4045万円
	介護保険	▲2341万円	6億3595万円
	後期高齢者医療	50万円	2104万円
合計		▲5億5816万円	92億5886万円

## 3月定例会 質疑

# 事業内容を精査し 効果的な財政運営を

3月定例会質疑では、事業の効果や今後の考え方や取り組み方など、議員からさまざまな意見や指摘が出されました。  
その中の一部を紹介します。

## バナナ事業

### 今後の取り組みは

小磯 利雄 議員

小松 復興企画課長

(株) 広野町振興公社のバナナ事業は平成28年度に開始し、昨年度は1600万円の赤字となっています。民間の株式会社が行っていたことを町が引き継ぐ。要するに、民間会社の尻拭いを町がするように感じますが、どのように考えていますか。

全員協議会においても、新たな投資、規模拡大は行わない旨、説明しています。赤字を引き継ぐ形とはなりますが、町としてはバナナ事業が地域の魅力を発信する事業と認識しており、産総研の地中熱の実証実験も実施していることから、この期間はバナナ事業を継続し、ふたば未来学園と連携した事業を継続していきたいと考えています。



バナナ事業を行うトロピカルフルーツミュージアム

## 下水処理場

### 処理能力は十分か

渡邊 正俊 議員

下水処理場の処理能力と現在の処理状況は、能力に対して何%くらいですか。

処理エリア内の一般住宅でも、合併浄化槽で対応しているところがありますが、今後、駅東側に造成している団地が下水道に接続しても、処理能力が十分に対応できますか。

松本 建設課長

現在の下水処理場は2,000トンの処理能力を有しており、現在1,400トン进行处理しており、稼働率としては75%となっています。

駅東の開発計画の段階で処理能力の確認はしており、駅東側開発エリアを接続しても、問題なく処理できます。



令和3年度返礼品 ひろの米

## 総務省の指示内容は

小磯 利雄 議員

猪狩 産業振興課長

ふるさと応援寄付金の返礼品について、総務省から指示があったと聞いていますが、何があったのですか。

ふるさと応援寄付金については、納税額に対する返礼品の経費を5割以下にする決まりがあります。令和3年度において、その経費割合が65%になったことが報道され、全国で1番でした。

要因は、農家を支援するため、なるべく高く米を購入したことで経費が嵩んだ部分がありました。

さらに、米の重量に対する送料が高く、遠方であればあるほど経費が嵩んだことが実情です。

令和4年度は、返礼額と米の調達額を見直し、経費の割合を下げる努力をしています。

## 黒田 政徳 議員 ご逝去



黒田政徳議員（満66歳）が去る令和5年3月21日にご逝去されました。

平成15年4月に、郷土を愛する情熱と使命感から町政に参加することを決意され、地域の皆さんからのご支持を得て、広野町議会議員に初当選され以来、5期20年にわたり、広野町政の枢機に参加し、地方自治の発展と住民福祉増進のため常に広域的な視野に立ち、住民本位の政治理念のもとに諸施策の議決機関の一員として、積極的に町執行部と一体となり、町勢進展に大きな足跡を残されました。

この間、平成19年5月から8年にわたり監査委員を歴任され、平成27年11月からは議長として地方自治の振興と発展に寄与されました。

令和元年11月からは議会運営委員会委員長としてご尽力され、優れた識見と円熟した人格により、議会運営、町政運営に際しても、信望を集めておられました。

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 議会運営委員会 役員の変更

令和5年4月7日に開催した議会運営委員会において、委員長及び副委員長が選任され、委員長に門馬巧議員、副委員長に畑中大子議員が就任しました。

### 議会運営委員会

委員長	新	門馬 巧 議員	副委員長	新	畑中 大子 議員
	旧	黒田 政徳 議員		旧	門馬 巧 議員

# 報告

を報告します

2月9日（木）  
総務文教常任委員会

調査件名

- 広野駅東側開発について
- 給食センターの改修について

総務文教

## 広野駅東側開発

● 住宅開発の造成工事  
販売方法

広野駅東側開発整備事業の（第2期）について、駅東側住宅開発の造成工事のうち、盛土工事が完了し、上下水道の工事と区域内の道路整備工事が行われているとの説明を受けました。

宅地開発は最終的には47区画、以前50区画としていた所へ、公共用地、即ち公園やゴミ置き場とすることが想定されているとのことでした。

注文住宅にも応じることはできるかの質問には、セミオーダーという形でできる可能性があり、住宅メーカーの選び方にもよるとのことでした。

住宅の販売方法などの最終的な詰めのところまで調整に時間がかかっていることに対しては、何が原因という把握は難しい。協議はしているが、全てが

整ってから全体を公表することとした。

● 駅改修事業

駅改修事業のイメージ図が示されたことに對し、議会として、今後これまでの未来の架け橋なども繋がるような、色やデザインを検討してほしい旨、要望しました。

総務文教

## 給食センターの改修

● 給食センターの機能と課題の検討

①給食センター建設候補地（案）、②熱源の検討、③タイムスケジュールについて説明を受けました。

給食センターの非常時炊き出し機能については、簡単なものにぎり製造機のようなものを備品として用意したいと考えている。近隣施設の保健センター、老人福祉センター等が持っている機能を考慮にいれ検討していく。電気代の高騰により、熱源については、電気とガスの併用も検討しているとのことでした。

給食センターを建設することで、子どもたちの給食無償化に影響はないかの質問に対し、物価の高騰は給食単価にも影響を及ぼしている。給食センターに補助金があり、町の予算の持ち出しをする時には起債もありうるが、給食費用とは、別

の次元の問題。そこは、しっかり切り離して考えていきたいとのことでした。



給食センターから給食を運送するトラック

2月10日（金）  
産業厚生常任委員会

調査件名

- 農林業の振興について
- 町の道路行政について

# 委員会

## 各常任委員会の活動状況

産業厚生

### 農林業の振興

●農林担い手確保支援事業補助金と振興作物収穫補助金

農業担い手確保支援事業補助金は町単独事業となっていて、町内に住所を有しないと対象とはならず、また就農前新規認定農業者の位置付けについては、営農開始から新規就農者となるのではなく、前段で町は認定している。「ICT機器及びロボット技術の導入」については、リモコン草刈り機の導入やドローンで除草剤を撒いたりするのも対象としている。振興作物として、大豆1万円、10a当たり大豆1万円、そば5千円、飼料作物5千円、野菜1万5千円、麦1万円、花き5千円となっているとのことでした。

●二ツ沼直売所の今後の運営体制

二ツ沼直売所の今後の運営体制については、販売員については町で雇用し、生産者には納品だけをしてもらう体制を考えている。野菜以外の商品の販売も継続していかねばならず、今後、商工会と打ち合わせをして商業者に対する利便性を図っていききたいとのことでした。

●森林環境譲与税を活用した整備

森林環境譲与税を活用した高倉山展望台等

整備事業については、擬木を使えば維持管理しやすいが、森林環境譲与税を使って整備するものについては、木材を使って整備するということ縛りがあるとのことでした。



拡幅工事が予定される町道萱平線

産業厚生

### 町の道路行政

●町道の整備計画

町道萱平線については、福島地方事務局の調査で判明した長期相続登記未了土地については、土地の管理者と打ち合わせし、どのように進めるのか話をしていく。町道高倉ヶ亀ヶ崎線の歩道幅については、3mで計画を進め、道路線形が変わる区間については、次年度以降道路設計を進めていく。町道田戸作線のふるさと農道から350m以降については、次年度改良を進めていく予定となっているとのことでした。

●一旦停止の白線

県内で発生した信号機のない交差点での死亡事故を受け、一旦停止の白線については、町の主要な場所についてパトロールを実施し、優先順位を付けて対応を進めているとのことでした。

# 7人の議員が 町政を問う

## 門馬 巧 P13

- 町民バス運行事業実績について
- デマンド交通体系構築について

## 渡邊 正俊 P14

- 物価高騰に対する農家支援対策について
- 企業誘致について

## 北郷 伯弘 P15

- 移住定住について
- 異次元の少子化対策について

## 門馬 まりえ P16

- がん検診の受診率について
- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更について
- 公立小中学校の学校図書館について

## 畑中 大子 P17

- 中間指針見直しによる賠償金について  
(中間指針第五次追補決定)
- タクシー券の増額と町民バスの循環方式について
- 町が主体となった直売所経営について

## 遠藤 浩 P18

- 広野町ゼロカーボンビジョンの推進について
- 郷土(地域)学習について

## 小磯 利雄 P19

- 令和5年度施政方針について

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり所信を問いたたずものです。

# 追跡 レポート

追跡  
レポート

## あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか、どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和4年3月定例会 一般質問

黒田 政徳 議員

### 広野町振興公社の経営状態は

町が100%の出資で運営している広野町振興公社の経営状態はどのようになっていますか。

赤字の場合は株主である町の判断が必要と思いますが、どのように考えていますか。



### 指定管理料の見直しを実施

経営赤字の状態であることから、令和4年度に広野町振興公社の会計処理の透明性、事業の予算配分、実態を把握し、令和5年度以降の二ツ沼総合公園、公設商業施設の指定管理料については見直しを行います。



### 経費の明確化を図りました

令和4年度に真に必要な経費の精査を行い、令和5年度予算においては施設管理に係る経費(指定管理料)とふれあいフェスタ、バナナ事業等のまちづくりに係る経費(事業委託料)を個別に計上して明確化を図りました。



もんま たくみ  
門馬 巧 議員

## 町民バス

### 利用の状況は

町長／平成25年度以降 7万8千人が利用

**門馬**：町民バス事業は平成10年4月運行開始以来25年を迎えようとしています。その間多くの町民の方々の移動の足となり、利便性の向上に大いに寄与してきました。平成23年3月11日時点での町人口5490人を要した我が広野町です。

町当局の創意工夫の賜物と実績を振り返るのも、この期に臨んでの我々の責務である批判と監視であると思います。以下に質問します。町民バス運行事業中に乗車した人数

**町長**：現存する平成25年度から令和5年3月1日現在までの資料では、延べ乗車人数は7万8464人となります。

**門馬**：町民バス運行事業中に要した総事業費

**町長**：平成25年度から令和5年3月1日現在での町民バス運行事業に係る総事業費は1億6758万円となっています。

### デマンド交通

#### この政策について提案を

町長／町民の声を捉え福祉の向上に取り組み

**門馬**：我が町の人口は、

少子高齢化率がすすんでいます。さらに後期

高齢者人口703人中

100歳以上の方が5

人います。この様な人口

構成の中この度、広野町

地域公共交通活性化事業なるものを、提案

を受けました。この政策

では遠隔地町民は生活

が成り立ちません。地域間の

差別です。本町において私の

知る限りこの様な差別政策

は記憶にありません。この

様な政策は絶対取るべきではありません

ん。そこで私は、次の提案

を致します。

①デマンドタクシーの利用

については、本人が、所定

の場所と連絡をする。

②利用については、65歳

以上の町民に限る。

③利用者は、一乗車につき

300円を、負担する。

④利用範囲は町内のみとする

が、距離の制限はないものとする。

⑤一日当たりの利用回数

については、制限がないものとする。

**町長**：人口減少及び高齢

化の進行による交通弱者

の増加に対応するため、町

民バス運行事業及びタクシ

ー利用料金助成事業の総合

的な見直しを検討してきま

した。

地域公共交通の見直し

により、循環バス経路外

の住民の方々の病院・公

的機関及び生活するに必要

となる移動において、町民

お一人の利便性、交通機能

の効率化が図られること

となります。今後

も町民の声を捉え、広野

町地域公共交通活性化事業

※1

親しい方が歩いて

るところを見かけて

“のっせ”と言って車に乗

せてあげる行為から名



わたなべ まさとし  
渡邊 正俊 議員

## 農業者支援対策

### 持続可能な農業を守るための対策は

町長／農業従事者の拡大を図り、意見を捉えていく

渡邊：米価の安値、農業用肥料等が高騰し農業経営の圧迫が懸念されますが、町の基幹産業と位置付ける持続可能な農業を守るために、5年度において新たな農業者支援対策は考えているのか伺います。

町長：担い手不足による農業の衰退や地域の荒廃が懸念される本町の農業において、「新規就農者確保促進事業」、「新規就農者経営支援事業」、「農業者大型特殊自動車免許等取得支援事業」、「スマート農業導入支援事業」に取り組みます。生産農家の収益向上と生きがいづくりを目的として、大豆、そば、

飼料作物、野菜、麦、花きを生産出荷する農業者に対し「広野町振興作物収穫補助金」を交付し支援します。

今後も農家支援対策について、農業従事者の拡大を図り、環境に配慮した持続可能な農業の展望に向けて、社会情勢を鑑み、農業に従事する方々の意見等を捉え取り組んでいきます。



完成した東町産業団地

## 企業誘致

### 東町産業団地・駅東側開発における見通しは

町長／意欲ある企業の進出と環境整備を図る

渡邊：令和4年度をもって東町産業団地が完成見込みですが、駅東側開発整備事業（第1期）の空いている区画を含めて、企業誘致の見通しについて伺います。

町長：企業誘致の見通しとして、福島国際研究教育機構（FIR EI）の展望へ向け、大学などの研究機関と連携し、福島イノベーション・コースト構想、福島国際研究教育機構に参画する企業など、イノベーションを起こす意欲のある企業進出を念頭に、住環境の整備と併せて、就労環境、雇用の場の創出など、マッチングに取り組んでいきます。

## 移住定住

### 現在の状況は

#### 町長／情報発信や移住支援を行う体制を構築

北郷：令和4年度には、駅東側整備事業（第2期）における宅地造成が完了します。

そこで、以下のとおり伺います。

宅地分譲について、どのような見通しを持っているのか伺います。



きたごう みちひろ  
北郷 伯弘 議員

町長：約1万8千㎡の敷地に47区画の宅地を整備し、就労、医療、福祉、教育、子育て等がバランスよく整っている快適な暮らしの創出を目指し、「家族、地域が共に育むまち」、「豊かな自然、街並みと景観」、「豊かなコミュニティ」と豊かな空間」を柱とした「自然と調和し、暮らしを育むまち〜Be in Harmony〜」をコンセプトに5月の販売開始に向け進めています。

北郷：移住定住施策を実施しているが、どのような状況にあるのか伺います。

町長：「広野町移住定住『共生のまちづくり』促進プラン」で策定した将来人口6千人を達成すべく取り組みしており、令和4年7月28日、様々な分野で活躍し、発信力のある方々を「広野町移住定住応援隊」に任命し、広野町と関わりのある皆様と「オール広野」で情報発信や移住支援を行う体制を構築しました。

## 異次元の少子化対策

### 町独自の支援策は検討されているのか

#### 町長／高校生・子育て世帯の経済的支援等に取り組んでいく

北郷：国の少子化対策の柱は、

- ①児童手当など経済的支援の強化
- ②学童保育や病児保育、産後ケアなどの支援拡充
- ③働き方改革の推進

のようですが、町独自の少子化に対する支援策について検討されているのか伺います。

町長：町は、少子化対策事業の一環として、出産祝金・小・中学校入学祝金の支給、不妊治療・不育治療助成、チャイルドシート購入助成、広野小・中学校生・こども園児の給食無料化、こども園の言葉の教育事業における教材無料化、広野中学生英語検定・漢字検定試験・数学検定試験受験料の無料化など、町独自の子育て世帯に対する経済的支援、少子化対策を行っています。今後義務教育を終えた高校生の学費や習い事などの負担が増える子育て世帯の経済的支援、少子化対策に取り組んでいきます。



駅東側開発地区住宅団地



もんま 門馬 まりえ 議員

がん検診

要精密検査者に対する早期受診勧奨は

町長／通知や電話等で個別に勧奨を行っている

門馬：当町の2020年のがん検診については、新型コロナウイルスの「受診控え」が考えられるような各がん検診の受診率の変化はあったか伺います。

町長：がん検診受診率結果の前年度との比較は、がん検診全体で平均10・3%減少しており、新型コロナウイルスの影響による受診控えがあったものと捉えています。

門馬：第2次広野町健康づくり計画の中で、行政がすべきこととし

て、精検未受診者に対する早期受診勧奨をするとされています。2020年の精検者に対する実施状況について伺います。

町長：要精密検査者への受診勧奨については、がん検診受診者への検診結果通知の際に精密検査受診勧奨通知を同封する対応を行っています。精密検査受診勧奨通知から受診期間後においても未受診の場合、電話等において個別に受診勧奨する対応を行っています。

学校図書館

蔵書の状況・子供たちに望むことは

教育長／心情豊かに成長できる環境を整備していく

門馬：文部科学省は2026年度までに全小中学校で「学校図書館図書標準」で示す蔵書数の達成に向け、「十分な図書費の予算を確保している」と答えています。

そこで、当町における小中学校で蔵書数は達成されているか伺います。

教育長：文部科学省が定める学校図書館図書標準による標準蔵書数は、広野小学校は6040冊、広野中学校は6080冊となっています。令和5年3月1日現在、広野小学校の蔵書数は1万6590冊、広野中学校の蔵書数は3476冊となっており、中学校において2604冊の不足となっています。

門馬：調査から古くなった本の廃棄を学校に勧めていない自治体が25%あったそうです。小・中学校については、「学校図書館図書廃棄基準」を参考に廃棄は勧めているか伺います。

教育長：広野小・中学校においては、購入から年月が経過しているもの、破損したものを主に廃棄しています。正しい情報や図書館資料に触れる環境整備の観点、読書衛生上の観点から、適時、適切に廃棄及び計画的な図書の更新に取り組んでいきます。

門馬：最後に学校図書を活用して子供達にどのような環境を整えてほしいか伺います。

教育長：情報過多の現代社会において、情報機器による情報収集のみではなく、学校図書を活用して、自主的・主体的に学習活動や読書活動を行う心豊かな創造的な活動を行える児童生徒に成長できる環境整備に取り組んでいきます。

新型コロナ

5類感染症見直しによる町の取り組みは

町長／情報の把握と的確な情報発信等に取り組む

門馬：令和5年5月8日から、感染症法上の「新型コロナウイルス感染症」から5類感染症へ見直しされることになりました。変更にあたって町の取り組みについて伺います。

町長：国から示される患者等への対応、医療提供体制等の情報把握住民への的確な情報発信を行うと共に、新年度において円滑なワクチン接種に対応できる体制構築に取り組ま

## 賠償金

### 国等への要請が第五次追補に反映されていない

町長／賠償の格差は正に向けた要請を行っていく

畑中：「中間指針第五次追補決定」は新聞等で報道されました。住民への、通知や請求書などが送られる時期は決定していますか。

町長：住民等への賠償請求に関する書面等の送付時期については、現在、東京電力ホールディングス（株）において、公表された内容以外の項目や受付開始時期などを検討中であり、令和5年3月中を目途に改めて発表することとしています。

はたなか ひろこ  
畑中 大子 議員



畑中：福島原発避難者訴訟第1陣の判決で賠償額が支払われ、原告団と弁護団が原告と同等の賠償金を避難者全住民に支払うよう自治体としても国や東電に要請しました。今回の第五次追補ではその要請は反映されていないようですが、そのことは指摘されましたか。

町長：被災住民お一人お一人に誠心誠意に寄り添い、今回の賠償内容を上限とせず、賠償の格差は正に向けた要請を行っていきます。

## 町民バス

### 切実な願いを聞くべきではないか

町長／町民の声を捉え福祉の向上に取り組んでいく

る現況にあり、地域公共交通の見直しにより、住民の方々の病院・公的機関及び生活するに必要となる移動において、町民お一人お一人の利便性、交通機能の効率化を図ります。

畑中：デマンド方式や町民バスを有料にして何とか公共交通を残してほしい、という切実な願いを聞くべきではないですか。

町長：町民に馴染みのある町民バス事業とタクシー利用料金助成事業の見直しにより、町民の利便性の向上及び福祉の増進に寄与することとしています。町民の声を捉え、広野町地域公共交通活性化事業「NOSSE（のっせ）」の運行により福祉の向上に取り組んでいきます。

町長：多様化する町民のニーズや社会情勢の変化並びにコロナ禍の影響により、町民バスの利用者が減少してい

## 直売所経営

### 経営方針はどのようか

町長／多くの人が利用する魅力ある直売所をめざす

畑中：今後は町が主体となりますが、どのよう

に経営していくのか、方針はありますか。

町長：運営にあたっては、会計年度任用職員を配置し販売、売り上げの清算を行い、出品者は野菜等の搬入、陳列などの出店準備を行い、清算時において販売金額に対し手数料を町へ支払う運用となります。

畑中：野菜や果物などの生産者の数は、現在のどのような状況ですか。町は、直売所に出荷する農業者の数を増やしていくために、何をしたいのでしょうか。

町長：販売を目的として出荷している生産者の数は、重複している方

を含め、野菜26人、果樹8人、花き6人、豆類2人となっています。新たな取り組みとして、大豆、そば、飼料作物、野菜、麦、花きを直売所等へ出荷する生産者に対し、「広野町振興作物収穫補助金」を交付し支援します。

畑中：専門の軽トラなどを利用した団地などへの定期的な販売を検討すべきではないでしょうか。

町長：平成30年7月、（株）セブンイレブンジャパンと協定を結び、町内において移動販売車により食料品などを販売する「セブンあんしんお届け便」を開始し、現在は週2回の移動販売を実施しています。



えんどう ひろし  
遠藤 浩 議員

## 広野ゼロカーボンビジョン

### インフラ整備・再エネ施設の展望は

**町長**／財源の確保を図りながら着実に取り組んでいく

**遠藤**：次世代自動車の普及を促進するためにも現在利用が拡大している電気自動車への急速充電等のインフラ整備に早急に取り組むべきと考えますが、町長の考えをお尋ねします。

**町長**：公共施設等において太陽光発電設備等の設置、電気自動車の普及を促す急速充電設備等のインフラ整備など、国の補助制度を活用し取り組んでいきます。

**遠藤**：当町においてもカーボンニュートラルを理由に過剰な開発が行われる可能性があると考えますが、どのように対応していく考えかお尋ねします。

**町長**：カーボンニュートラルを理由とした過剰な開発が行われないよう、太陽光パネルの農地等への設置に関するガイドラインの整備を検討し、「広野町環境基本条例」のもと、「広野町環境基本計画」の策定に向けて取り組んでいきます。

**遠藤**：町内でエネルギーの地産地消をするということは、町が所有する再エネ施設で発電した電気は、町内の各世帯に無償で提供することが可能ではないかと考えますが、再エネ施設の将来的な展望を伺います。

**町長**：国のグリーン成長戦略を捉え、原資となる財源の確保を図りながら、各家庭における補助制度の創設、公共施設や事業所における再生可能エネルギーの導入促進など、地域循環型社会への展望に向けて、着実に取り組んでいきます。

## 郷土（地域）学習

### 郷土への愛着を育む取り組みは

**教育長**／伝統を学び、史料を活用して郷土愛を育む

**遠藤**：幼少期から町内の風土・文化に触れる体験の機会は、郷土（地域）愛が育まれる過程で大変、重要であると考えます。町内における幼・小学校での郷土（地域）学習の実態についてお尋ねします。

**教育長**：こども園では、「ひろの童謡まつり」で制作されてきた広野町の童謡を保育時間に歌い、小学校では、「総合的な学習の時間」を活用し、五社山や高倉山、浅見川などの自然町に残る伝説などについて地域の方の協力を得て学習しています。

**遠藤**：中学校の教育計画には、町内外におけるボランティア活動も計画されていると思います。ボランティア活動の実態についてお尋ねします。

**教育長**：令和4年11月7日、大平の馬頭観音堂を地域の方の協力を得て、2年生全員で清掃ボランティア活動を実施しました。

令和5年3月8日、鹿嶋神社と築地ヶ丘公園を地域の方の協力を得て、1年生全員で清掃ボランティア活動を実施しました。

**遠藤**：郷土（地域）学習には温故知新の精神を持ち続ける学習内容も必要と考えますが、教育長の考えを伺います。

**教育長**：広野町の未来と地域の復興に貢献できる子どもたちを育成する「ふるさと創造学」に取り組み、「ひろの未来館」の史料等を活用して児童生徒の郷土学習及び町民の郷土理解を推進し、「ふるさと広野町」に対する郷土愛を育む取り組みを行っていきます。



ひろの未来館 文化財等展示資料室

# 令和5年度施政方針

## 政策、政治方針は

### 町長／更なる復興創生の躍進に向け取り組む

**小磯**：令和5年度について、震災関連事業・通常事業予算配分と政策、政治方針について伺います。

**町長**：令和5年度における一般会計及び6特別会計を合わせた予算総額は70億9168万円であり、この内震災関連事業は13億2638万円、通常事業費は57億6530万円です。本年をふるさと復興・創生「草創の年」と位置づけ、これまで

としお 利雄 議員  
こいそ 小磯

通り「いのちを守り、人を生かし、未来をつくる町」を標榜し、日本一元気な町づくりと更なる復興創生の躍進に向け全身全霊、全力で取り組んでいきます。

**小磯**：スタートアップが革新的なイノベーションや新たな雇用を生み出しています。情報発信などワンストップ支援拠点を整備すべきではありませんか。

**町長**：自治体や独立行政法人、大学などにおいて、インキュベーションセンターを設置し、支援する動きがあります。これらの可能性を念頭に、公共施設等の有効利用を捉え検討し、取り組んでいきます。

**小磯**：令和3年3月5日、広野町ゼロカーボンシティを宣言されました。4年度は実績無し、5年度はどうされますか。二酸化炭素排出基準年はいつで、排出総量はいくらでしたか。

**町長**：環境省の補助事業を念頭に、公共施設への太陽光パネルの設置やEV車、急速充電器等の導入を図り、2050年のカーボンニュートラルに向け、計画に基づき着実に取り組んでいきます。二酸化炭素の排出量につきましては、2017年「広野火力発電所」が排出しているCO<sub>2</sub>が約44万2千トン、町内の事業所及び家庭において、約4万4千トンとなり、合計約48万6千トンとなります。

**小磯**：東京電力（株）からの税込総額はいくらになりますか。今後1号機〜6号機の休廃止はあるのですか。

**町長**：課税開始の昭和55年度から令和4年度における固定資産税及び法人町民税の納付額は、約689億6633万円となります。現在、1号機から4号機は長期休止中であり、現時点において、電力事業者からプラントの新たな休廃止の手続きにあるとの連絡は受けていません。

**小磯**：東京電力（株）（株）JERAとの信頼関係は維持されているのですか。

**町長**：地域を代表する企業として、今後とも堅固な連携・信頼関係のもと、広野火力発電所の立地町として、「火力の町」の未来発展に取り組んでいきます。

**小磯**：バナナ生食過年度別売り上げ実績をお知らせ下さい。さらに本年度事業計画について説明願います。

**町長**：令和元年度の実績は、生食売り上げ495万円、令和2年度生食売り上げ172万円、令和3年度、生食売り上げ332万円、令和4年度1月末現在、生食売り上げ156万円となっています。産総研が実施している「バナナハウス栽培に適した地中熱システムの開発・実証事業」を

実施している期間において、町の魅力づくり事業として、（株）広野町振興公社に業務委託をします。

**小磯**：道の駅事業中止に係る町負担精算額が8億3千万円と発表されました。一人当たり17万5千円の負担になります。町は町民に対し説明すべきであり、責任をどのように取るのかお聞きします。

**町長**：道の駅整備計画において計画変更に至りましたことについて、町民の皆さまにはお詫び申し上げ、町民の命を守る「災害に強いまちづくり」の実現に貫徹するべく責務を全うし全力で取り組めます。

# 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無：無記名投票 可：議長採決可決 否：議長採決否決  
 ※議長は採決に加わりませんが、可否同数となった場合は議長が裁決します。

## 令和5年3月 第1回定例会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)										
								1 阿 部 憲 一	2 北 郷 伯 弘	3 遠 藤 浩	4 北 郷 幹 夫	5 門 馬 ま り え	6 畑 中 大 子	7 小 磯 利 雄	8 門 馬 巧	9 渡 邊 正 俊	10 黒 田 政 徳	
発議第1号	議員定数に関する特別委員会の設置について	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第1号	広野町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第2号	広野町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第3号	広野町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第4号	広野町情報公開条例の一部を改正する条例	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第5号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第6号	広野町国民健康保険条例の一部を改正する条例	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第7号	広野町二ツ沼総合公園条例の一部を改正する条例	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第8号	国土調査に関する町有地処分条例及び広野町町有地処分に関する審議会条例を廃止する条例	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第9号	工事請負契約の変更契約について(東町線道路改良舗装工事)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第10号	工事請負契約の変更契約について(東町産業団地造成工事)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第11号	令和4年度広野町一般会計補正予算(第7号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第12号	令和4年度広野町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第13号	令和4年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第3号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第14号	令和4年度広野町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第15号	令和4年度広野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第16号	令和4年度広野町介護保険特別会計補正予算(第4号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第17号	令和4年度広野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	3/15	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第18号	令和5年度広野町一般会計予算	3/16	9	8	7	1	原案可決	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第19号	令和5年度広野町国民健康保険特別会計予算	3/17	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第20号	令和5年度広野町土地開発事業特別会計予算	3/17	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第21号	令和5年度広野町公共下水道事業特別会計予算	3/17	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第22号	令和5年度広野町農業集落排水事業特別会計予算	3/17	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第23号	令和5年度広野町介護保険特別会計予算	3/17	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第24号	令和5年度広野町後期高齢者医療特別会計予算	3/17	9	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	退	○	○	欠
議案第25号	広野町教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて	3/17	9	8	7	1	原案同意	×	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
議案第26号	広野町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	3/17	9	7	7	0	原案同意	退	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠
選任第1号	議員定数に関する特別委員会委員、委員長及び副委員長の選任について	3/17	9	8	8	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	欠

審議結果

# 会議等出欠状況

議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村議会議長会が主催する会議にも出席しています。

令和5年1月1日～3月31日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
				阿部 憲一	北郷 伯弘	遠藤 浩	北郷 幹夫	門馬 まりえ	畑中 大子	小磯 利雄	門馬 巧	渡邊 正俊	黒田 政徳
出席回数(回)				11	13	10	13	10	13	13	10	12	6
会議回数(回)				13	13	10	14	10	13	13	11	13	11
1	6	金	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
	12	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	月	広報委員会	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-
	23	月	広報委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
	31	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	9	木	総務文教常任委員会	-	-	-	○	○	○	-	-	×	○
	10	金	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	○	○	-	-
	10	金	双葉地方町村議会議員研修会	×	○	○	○	○	○	○	×	○	病
	13	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	3	金	議会運営委員会	-	○	-	×	-	○	○	○	-	○
	9	木	令和5年第1回定例会(1日目)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	火	令和5年第1回定例会(6日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病
	15	水	令和5年第1回定例会(7日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病
	16	木	令和5年第1回定例会(8日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病
	17	金	令和5年第1回定例会(9日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、行政視察の受け入れを見合わせています。

## 議会の様子を見てみませんか？



### 次回の定例会は6月です

議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。

また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。

広野町ホームページまたは、右のQRコードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。

広野町ホームページ

<https://www.town.hirono.fukushima.jp/>

議会映像ホームページ

<http://hirono.k-quick.net/>



# 広野町地域公共交通活性化事業 今後の公共交通事業に期待することは？

町では、平成10年4月から運行を開始した町民バスについて、人口減少や高齢化の進行による交通弱者等の増加に対応するため、令和5年7月から町民バスとデマンド交通を組み合わせたハイブリット方式を導入する事業案が示されました。

デマンド交通はドアtoドアの運用であることから利用者の利便性が向上するとともに、従来のタクシー利用に比べ利用者負担の軽減が期待されます。

町民の方から、当事業に対して期待していることなど、ご意見・ご感想をお伺いしました。



渡邊 栄一さん  
(折木)

これからますます高齢化が進むのに、町民バスは高齢者にはなくてはならないものだと思います。私は、元大和田町長が走らせてくれた町民バスを大変ありがたい乗り物だと思っています。そして若い人達にも常日頃から、この大切な交通をなくさないでほしいと言いつけてきました。これからも病院や買い物に行くために必要です。よろしくお願ひします。



長久保 敏江さん  
(折木)

いつも町民バスで、町内の病院に行きます。町営住宅から乗れない時もあるので、今度始まるデマンド交通は、予約ができてとても助かります。料金も手頃なので、高齢者だけでなく、皆さんが利用しやすいと思います。広野町に住んでよかったと思うのは、町民にやさしいこつこつサービスを町が進めてくれるからです。

## 編集後記

日本の3月の気温は年々上昇しています。過去30年の平均値を基準とすると、令和5年は2・75度上回り、統計開始以来、最も高い値となりました。田植えの時期を間近に控え、水利組合各農家で掘り払い共同作業と併せて育苗が始まりました。ロシアのウクライナ侵攻の影響で、世界の穀物やエネルギーの価格が高騰し、さらに円安が進み、輸入食料品の値上がりが続いています。また、食料生産の基盤となる農地の減少も深刻で、食料危機に備えて耕地利用率の向上が求められます。移住定住推進でも若い人材が集まる地域農園を切り離して



春を感じるタンポポ

- 発行・編集責任者  
議長 長 北郷幹夫  
広報委員会  
委員長 阿部憲一  
副委員長 渡邊正俊  
委員 小磯利雄  
委員 畑中大子  
委員 北郷伯弘

次の定例会は6月です